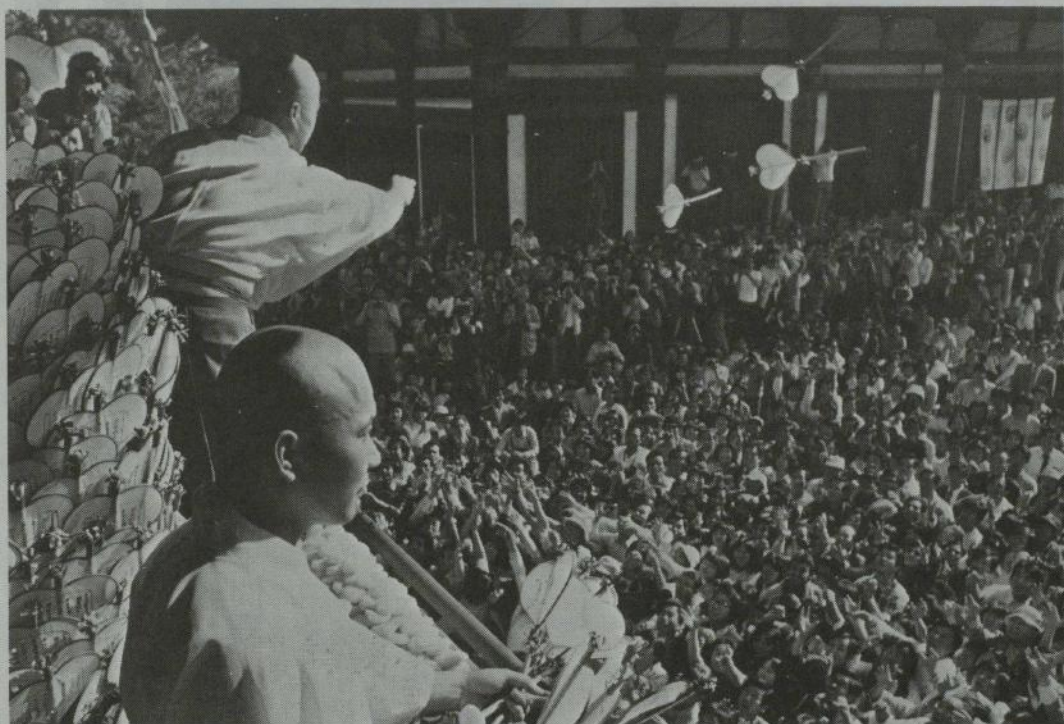


No. 268

全 仏

5 / 56



自然のリズム

ことのほか多かった今年の雪のため、各地で樹木の倒壊の報が入っている。土地の古老が、なぜ簡単に倒れるのか、首をかきつけているという話題が先日の新聞にのっていた。

原因は肥料のせいだという。現代科学の知恵をしばったはずの肥料が、逆に、樹木が、しっかりと大地に根を張ることを妨げているのだという。

現代科学は私たちにひと昔前では、想像のできない便利なすばらしい生活をもたらしてくれたが、同時に、大きな落とし穴のあることも教えてくれている。

春爛漫、このすばらしい自然の恵みを有難くうけとめたい。春夏秋冬、この自然のリズムを大切に守り育てなければならない。

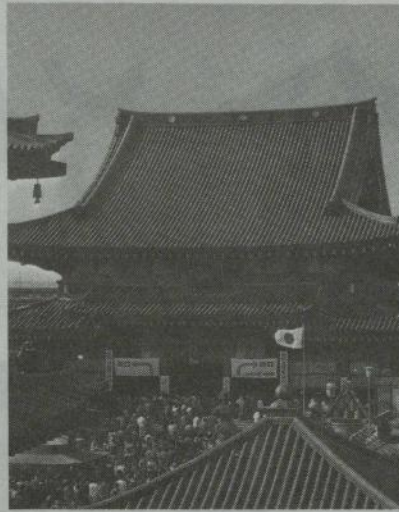
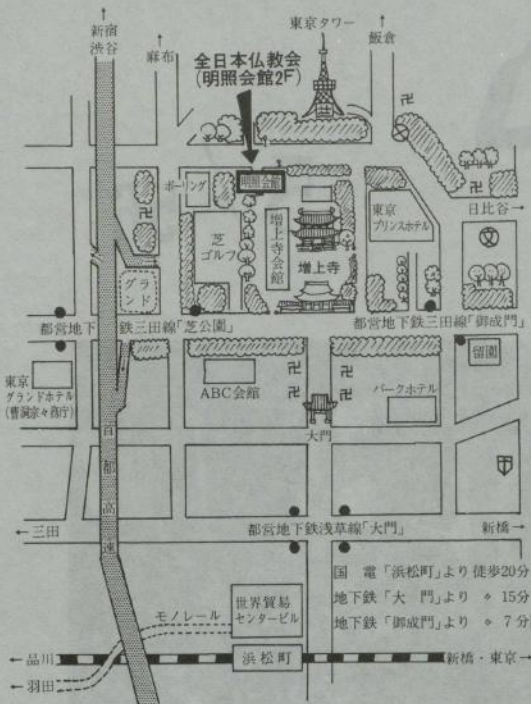
うちわまき会式

(唐招提寺)

— 写真の解説は八面にあります —

全日本仏教会

新事務総局 東京都港区芝公園4-7-4
TEL. 03 (437) 9275



第28回全日本仏教徒会議

期日 10月26日～27日

場所 大本山 川崎大師平間寺

第二十八回全日本仏教徒会議は、昭和五十六年十月二十七日(火)、神奈川県川崎大師平間寺(高橋隆天真首)において、昨年と同じく全日本仏教会の主催により行なわれることとなった。これに先立ち、前日の二十六日には県仏代表者会議が開かれる。

なお、大会のあり方や内容などについては、組織専門委員会及び準備委員会で討議を重ね開催される意向である。
【写真は川崎大師平間寺の大本堂】

全仏事務所 隣りへ移転

五月から 明照会館

全仏事務所は、二年前、浅草の東京本願寺から、増上寺裏へと移転してきました。もう関係団体の方々には、すっかりおなじみになりましたが、このたび、建物の老朽化に伴い、すぐ隣りの明照会館(2F)へ移りました。

四月末日までに引越しを完了し、五月

企画委員会ひらく ルンビニー復興初の

去る三月九日開かれた、第三回ルンビニー復興準備委員会で、十人の企画委員が選任されたが、その初めての委員会ルンビニー復興第一回企画委員会)が四月四日午後一時から、東京・芝の明照会館で開かれた。最初に安本国際文化局長より挨拶、つづいて柳了堅委員長に選出して議事を開始した。

一、ネパール側への協賛として、日本は「聖なる園」の建設を目標とする。

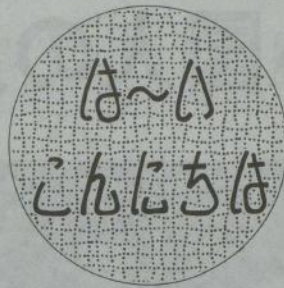
一、予算については、準備資金として、寺院特別協賛金を集める。

一、勸募は、在米開教宗団からの献金、仏教関係教育機関への協力、仏跡巡拝者への呼びかけを行う。同時に各宗寺院への動きかけ、ルンビニー関係の展示会も開く。

一、今後の対策として、五月初旬に準備委員会を開き、予算案等を協議し、五月二十六日の理事会へ提案する。また今年十一月九日から七日間、現地視察団を派遣する。

(出席者) 柳了堅、植松威、織内七郎、西村輝成、加藤海晃、小峰一允、佐藤良純

国立療養所多磨全生園



②

かつて不治の病として恐れられたライ(ハンセン氏病)。化学的薬剤の開発で治療効果が著しく進み、治る病氣となった今日でも、一般にはなかなかその実情が知られていない。そこで今回は、ハンセン氏病の療養施設「国立療養所多磨全生園」(大西基四夫園長)を訪ねてみた。

東京の郊外、今は都心への通勤圏となっている東村山市と清瀬市の境に、約十一万坪という広大な敷地を持つ多磨全生園。また武蔵野の面影を残す園内には、雑木林が広がり、療養施設が緑の中に点在している。正門は所沢街道に面し、車の流れが絶えない。

九百五十人を収容

「現在、ここには九百五十人の患者さんがいます。日本全体でのライ患者

数は約八千人、十六カ所(国立十三、私立三)の専門施設で療養しています。新たな発病者は毎年数十人と、大変少なくなってきました。しかし、療養生活が長期にわたるため、患者平均



花まつりの法話を聞く入園者たち

弱く、ほとんど抵抗力のない幼児期に感染するといわれる。現在、世界の患者数は約千四百万人、その六十パーセントが、アジア各国に分布している。この全生園はライ予防法に基いて、明治四十二年に創立されたというからすでに、七十年以上の歴史があるわけだ。今では、二百六十六棟の建物を持ち、医師・看護婦など三百三十人の職

年齢は六十歳と高く、また治っても、家族構成が変わっていたりして、帰れない人が多いんです。入園者の中で、保菌者は十五パーセント位しかありません」と、田口智男庶務課長は語る。

仏教三派で花まつり

ハンセン氏病は、ライ菌によって起こる慢性伝染病だが、伝染力は極めて

弱く、ほとんど抵抗力のない幼児期に感染するといわれる。現在、世界の患者数は約千四百万人、その六十パーセントが、アジア各国に分布している。この全生園はライ予防法に基いて、明治四十二年に創立されたというからすでに、七十年以上の歴史があるわけだ。今では、二百六十六棟の建物を持ち、医師・看護婦など三百三十人の職

員が働いている。入園者は、病気の程度によって分けられ、症状の軽い人は老化防止のため軽作業なども行なっている。また入園者にかかる経費はすべて国庫から出され、衣食住に必要なものの他、毎月、患者給与金として五万円余が支給される。

長期(ほとんどが終身)の療養生活を送る人たちにとって、宗教のはたす

役割は非常に大きい。仏教界でも、真言、日蓮、真宗の三派が、それぞれ御堂を建てて、布教に力を入れている。毎年四月には、三派合同による花まつりも開催されている。

今年の花まつり

今年の花まつりは四月十日。午後一時から園内の礼拝堂で始められた。中央に美しい花見堂が飾られ、誕生仏が微笑んでいる。開会の辞につづいて、三派六人の僧侶による勤行、途中で五十人近い入園者が、誕生仏に甘茶をかける。どこでも見られる花まつり風景だが、参拝者はすべてお年寄り、目が不自由なため、手を引かれて歩み寄る人も多い。

園長などの祝辞の後、導師をつとめた長谷川興真師(真言宗智山派満蔵院住職)が法話。ユーモアに富んだ話しぶりに、笑い声が広がる。入園者の表情は、思いの外明るい。

この多磨全生園、医療面が充実しているため、他の施設から移って来る人もいる。それでも患者数は着実に減少しており、わが国から、ハンセン氏病が消滅する日が来るのも、決して夢ではないといわれる。しかし、世界に目を転ずると、特にアジアの国々で、この病気に苦しむ人が多数いることも、忘れてはならないだろう。

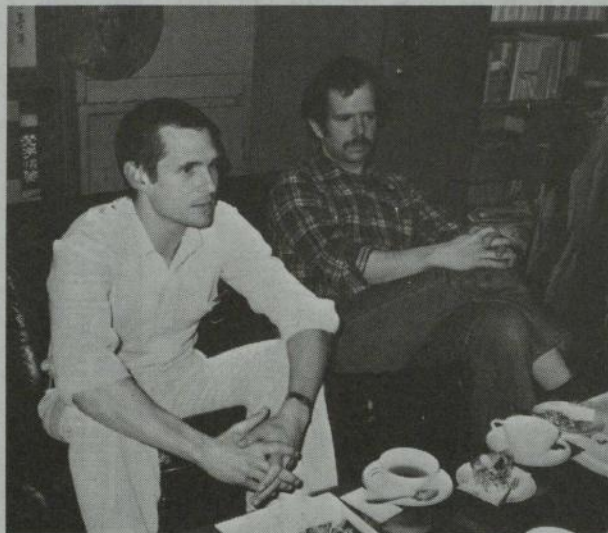
外国人の見た日本の仏教

得度した両アメリカ人に聞く

「灯台下暗し」、古き人々は、いい言葉を残してくれています。同一民族、同一言語の日本文化、その中心を担う日本仏教。これから折にふれて、こんな座談会も企画してみたいと思います。意外な盲点にふれられるかもしれません。

＝出席者＝

ジョナサン・ドリスコール（アメリカ 33歳）
デビッド・ホール（アメリカ 33歳）
司会 磯山福正（文化部長）



左からジョナサン氏とデビッド氏

アルバイトしながら ら大正大学で勉強

——今日は、おもしろい中をありがとうございます。最初に自己紹介をお願いします。

ジョン（ジョナサン） ほくはカリフォルニアで生まれ、仏教には高校時代から興味がありました。カリフォルニア大学卒業後、修験チャーチ・オブ・アメリカというお寺に入って、六年間、特に密教を勉強しました。そこで友人から、バークレー大学の客員教授だった、一島先生（一島正真師、現大正大学教務部長）に紹介されたのです。先生から日本語、天台学、書道を習っているうち、もっと勉強したくなって、一九七七年日本にきました。先生のお寺で、体験的に仏教を学び、一九七九年には得度、比叡山で六十日間の四度加行をやりました。

今は、東京のアパートに住み、アルバイトをしながら大正大学で聴講しています。また昨年、東南アジアの仏教を研究に出かけました。

デイブ（デビッド） ほくはノースカロライナで生まれ、ベトナム戦争に従軍、一九六七年沖縄へ来ました。その夜間学校で日本語を習い、帰国後は大学で政治学を専攻したのですが、関心は東洋学

と東洋の武道にありました。そしてハワイ大学の修士課程にいる時、天台宗の別院にいらした一島先生と遇ったのです。日本に来てからは、ジョンといっしょに得度、比叡山で修行し、今はアルバイトをしながら大正大学で、主に梵字の勉強をやっています。

お寺との結びつき は精神より社会的

——日本のお寺については、どう思われますか。

ジョン 仏教の檀家とキリスト教の信者はちよつと違う。檀家の人は、仏教を信じる、信じないに関係なく、ただお葬式と法事の用だけでお寺に来ます。日本のお寺は、精神的というより社会的なつながりが多いと思います。

デイブ 四国の八十八カ所を歩いたのですが、あるお寺には、本当に仏教のダイナミズムがありました。いろいろ案内してくれ、とてもよい料理を出し、お金も受け取りません。別のお寺では、バスツアーの人たちだけ相手にし、外で寝るのもダメといひます。ツアーグループと、たくさんお金を出す人だけOKです。巡礼の心ありません。でも、そういうお寺が多かったです。

——比叡山の生活はどうでしたか。
ジョン 毎日きびしかったです。とてもいい経験でしたね。あの山には歴史があり、神秘的な雰囲気です。ずっと昔から伝わっている心があると感じられました。

た。毎朝二時頃から行をやっている、だんだん仏の世界に入っていくようで、ありがたかったですね。

しかし、外国人がバツと比叡山に入るのはむずかしい。一鳥先生から、いろいろ教わっていたから何とか……。正座なんて、日本人なら誰でも知っていますが私たちが違いますから。

タイプ 二人とも、何回もまちがえたりして、よくおこられました(笑)。でも修行だから、当たり前。

仏教はとも現代 的な教えなのです

——日本のお寺は、修行の時だけきびしくて、後はきびしくない？

ジョン そうですね。一般の人はあまり仏教に縁がないみたいです。そしてなぜ、仏教に興味を持つのかよく聞かれますね。ほくには、仏教がとも現代的に見えます。この複雑な時代、人間は皆迷っています。仏教には、自分の事をより深く理解するという面もあり、非常に現代と関連があるんです。日本人はそれがわからない……。お坊さんの中にも、そういう人います。

比叡山で、いっしょに修行やっていたお坊さんに、そのお寺の本尊は何か聞いたんです。すると、さあ……。全然わかりません。興味も持っていないです。それでも、お坊さんを持つことは社会的な意味があることですね。

——それは、お坊さんに焦点を当

てて、少し話して下さい。

タイプ ほくたちの場合には、仏教の商売興味ありません。人生の意義を知ることが目的です。アメリカでは、多くの若者が人生の意義を見つめて、仏教に関心を持ちます。日本では、商売だけのお坊さんいれば、本当の意義を實踐している人もいます。

たとえば日本の若者、暴走族になります。お金も時間もあがるが、人生の目的がないからです。ほくも若い時、車をどぼしたりしましたが、そういうことはすぐ意味なくなりますが、修行はつらいですが、意味を探す行為でしょう。

ジョン 法事は仏教とあまり関係ないですね。関係あっても抽象的です。法話をしたり、一般の人に座禅を教えたり、写経を指導したり、それはいいことです。今は、たりないと思います。もっともっとやらなければ。

戒律よりも重要 なのは心です

——日本の仏教と、東南アジアの仏教の違いはどう思われますか。

ジョン 小乗と大乘の違いはありますが、仏教は一乗という考えが一番いいと思います。違う点はあまり大事にしない方がいい。基本的に同じ宗教なのでいいから。

タイプ 仏教の良い点は、根本の意味はそのままで、いろいろな文化や人に合わせることができるところでしょう。

——戒律の面で、日本はゆるくなりすぎていくという意見もありますが。

タイプ 仏教では、いろいろな道があり、お坊さんでなくても修行できます。ある人は弱いルールで、別の人は強いルールで。昔は戒律きびしかったが、僧兵みたいな人もいました。戒律があるうがなくなるが、重要なのは心です。ルールがきびしければ、悪いことをやりにくいです。ゆるかやらないかは、その人の心の問題でしょう。

ジョン タイでは、男は皆、短くても一度はお坊さんになります。一般の人と仏教の関係深くなります。日本では、大乘といながら、一般の人あまり関係なくなるしています。お寺の息子がお坊さんになるだけ。少しおかしいですね。

帰ったら天台宗の お寺を建てたい

——日本では仏教がお寺の中だけにあって、普通の人はあまり仏教徒という自覚がない、ということでしょうか。

タイプ しかし、日本文化の中に仏教がいろいろ入っています。たとえば檀那は梵語のダーナから来ています。お寺に行かなくても、仏教文化の中にいます。

ジョン 西欧人と日本人は、宗教に対する考え方が違います。キリスト教の場合、信仰は非常に個人的なものです。自分の魂のためのものです。キリストに頼まなければ地獄に落ちる、それはとても苦しいことですから、一生懸命に信仰を

求めます。

仏教では、皆仏心を持っていて、皆仏になれる。だから安心、信仰と関係なくてもOKということ。日本人は無宗教でも安心なんです。そこで仏教に接するのは、法事の時、親戚のためということになるんですね。

——お二人は特に密教に関心が深いようですが、他力の浄土教についてはどう思われますか。

タイプ 仏教にはいろいろな道があります。いろいろあるのは方便で、弟子に合わせているんです。ある道では戒律を重んじ、人によって、それぞれ歩む道が違いますが、中心には仏がいます。

——自分の道、自分の仏を見い出すことが、仏教でもっとも重要です。檀家とお寺の関係はいかがでしょう。

ジョン いなかでは、皆お寺を大切にしますね。しかし、一年に二、三回しか行かないようです。子供たちも行きませせん。キリスト教の良い点は、日曜学校があることです。ハワイのお寺でもやっています。日曜学校、重要です。

——最後に、これからの計画があったら、聞かせて下さい。

ジョン 大正大学でもっと勉強して、いろいろ体験してからアメリカに帰り、天台宗のお寺を建てたいと思います。

タイプ ほくはもっと学問をやりたい。パークレー大学か、コロンビア大学の博士課程に入って、研究を続けたいと思います。

——お二人ともがんばって下さい。

宗教法制研究会

のことも



長谷川弁護士

全仏顧問弁護士

長谷川 正浩

理論の確立目ざし

宗教法制研究会というのがある。去年の五月一七日にスタートし、今まで五回の研究会をもった。この研究会は、寺院関係者（僧侶）、大学人、弁護士三者で構成されているのが特徴。

その呼びかけ文によると、宗教法制は極めて複雑にも拘らず、その理論が未成熟の故に、実務家は、会社法等の理論を借用しているのが現状だ。そこで、寺院関係者（僧侶）も参加して、理論水準を高めようというものである。

会員は全仏をはじめ、曹洞宗、真宗大谷派、浄土宗、真言宗豊山派・智山派、

宗教法制理論を研究するため、全仏などのバックアップで生まれたユニークな研究会。長谷川弁護士に、その活動の一端を紹介していただいた。

天台宗、日蓮宗などの寺院関係者や、宗門の顧問弁護士等、又、愛知学院大学の宗教法制研究所や、早大、立正大、独協大、日大等の研究者、総勢五〇名余りで構成されている。

多彩な研究テーマ

1 檀信徒の寺院に対する帳簿閲覧請求権について（第一回）。

これを認める立場は、檀信徒は寺院の構成要素であり、総代を通して運営に関与できること。宗教法人は備付義務と罰則規定をわいていることを理由にしている。否定する立場は、檀信徒たる地位は、

法的地位でない。備付義務から閲覧請求権は発生しない。法律上明文も存在しない、などを理由としている。

2 墓地問題について（第一、二回）

これについては、問題が特に多い。墓地所有権の帰属を争うもの、墓地積の境界問題、墓地経営者の墓域維持義務、都市再開発等による都市内寺院の郊外移転に伴う境内墓地移転の際の墓地経営者と使用者の紛争、離檀改宗者の墓地問題、墓地の無縁化とその取り扱い、といった論点がある。

3 宗教法人と税の問題（第四回）

近時国税庁が公益法人に対し、目を光らせていますし、宗教法人に対する税の優遇は憲法違反との学説も出、対処を迫られています（詳しくは本誌二六六号参照）。

4 寺院住職の法的地位（第五回）

報酬請求権や教義宣布儀式執行権、境内使用权等のある住職は法律上の地位ではないか、というもの。これを否定するのが近時の判例、板まんだら事件と同じ信教の自由の問題を含む。

まだ発足して一年余りの研究会だが、寺院関係者からは特にその成果が期待されている。入会希望者は全仏まで一報されたい。世話人会の承認により出席できる。

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (841) 4965

全仏輪袈裟

こげ茶、法輪マーク付き
¥一、五〇〇円

法輪バツチ

径1cm、ネジ式
¥一、〇〇〇円

日の丸・仏旗バツチ

¥五〇〇円

全日本仏教会総務局

日米仏教徒交歓 米西・カナダの旅

参加者を募集

協力で、左記の通り開催されます。
旅行期間 昭和56年6月3日～12日

今年のロサンゼルス二〇〇年を記念し「日米仏教徒交歓米西・カナダの旅」が、全日本仏教会（齋藤正浩理事長の後援、ロサンゼルス仏教連合会（山下頭光会長）の

訪問都市 ロサンゼルス、バンフ、サンフランシスコ、バンクーバー
参加費用 四十九万八千円
募集人員 五〇人
企画 日通航空東京航空支店
ロサンゼルス仏教連合会との合同法要や交歓会、各宗派別院訪問の他、訪問各都市の市内観光、コロンビア大氷原・レイクルイーズの観光など、充実した企画内容になっています。ぜひ、多くの皆様のご参加をおすすめいたします。

「天台止観研究会」

来日外国人向けに開催
来たる五月二十二・三の両日、「来日外

国人の為の天台止観研究会」が、比叡山西塔の居士林道場で開催される。これは仏教英語研究会が主催するもので、参加費は一万円（現地集合の場合）。問い合わせは〇三一二六七一九五六一、仏教英語研究会まで。

「インドネシア古

代美術展」

国立博物館で

五月二十六日から七月十二日まで、東京国立博物館でボロブドール仏跡の出土品を中心とする「インドネシア古代美術展」が開催される。

八世紀、日本で仏教文化が栄えた奈良時代と時を同じくして、インドネシア・ジャワ島に伝えられた仏教は土着の文化

同和問題推進のために

(2)

同和特別委員会委員 橘 了法

この欄を、とおりにつべんのものとして見過すか、自身に懸る必然なものとしてあるかを確かめねばならぬと云っております。

いまの社会には、まだまだ時代おくれの意識や慣習、不合理や偏見が現に存在しております。同和問題もその一つで民主国家といながら、日本がま

だ民主的でないからこそ現存しているのではありません。

同和問題の解決が、国民的課題とされているのは、すべての国民に共通する問題であり、これに取りくむことは、日本の社会にある不合理なもの、非民主的なものをなくし、わが国に民主主義を実現していくことであり、そのた

めに国民みんなが協力せねばならない私達自身の問題であるからであります。

われわれが仏法者と称する限り、このことぬきには、もはや日本の宗教者ではあり得ないことを、全日本の宗教者の名において宣言いたしました。

これについて、「われわれ宗教者と名告るもの」という呼びかけ方について、「おこがましうも」とつけ加えよとの激しい投書を受けました。

もうわれわれは、一步も退けぬと云うにきていることを再確認せねばなりません。

と見事に融合、比類なき宗教芸術を完成させた。その象徴が、世界最大規模といわれる仏教遺跡、ボロブドールだ。

この巨大な遺跡は、一八一四年発見され、一九七三年からは、ユネスコの援助を受けて大修復工事が始まった。今回は修復事業を記念して、ボロブドールをはじめ、同時代の中・東部ジャワ遺跡群から発見された、計九十点にのぼる石造やブロンズなど宗教芸術の逸品が展示される。日本で、古代インドネシア美術の精華が公開されるのは、初めて。

なお、主催は東京国立博物館、ボロブドール展組織委員会、東京新聞、共同通信社。問い合わせは、ボロブドール展組織委員会事務局（〇三二五八六一一六五九）まで。

「時局対策部」を新設

去る二月六日開催された理事会、評議員会の決定により、いよいよ四月一日より、事務総局に「時局対策部」が新設された。

従来の事務総局の組織（総務局一庶務部・財務部、組織局一組織部、国際文化局一国際部・文化部）では、処理しきれない多くの時局の問題を、この部で一括して扱い、加盟団体の要望に応じようというもの。

新しい時局対策部の部長は、しばらくの間、庶務部長兼任で馬場道男部長、主事には西尾貫之主事（前文化主事）が就任。これに伴い、野生司祐安主事（新任）が文化部主事に任命された。

鳥取県仏へ承認証

四月一日、鳥取県仏への全仏加盟承認証が、県仏会長・中島謙教師の自坊、光明寺（鳥取市内）で手渡された。鳥取県仏の全仏への再加盟は、去る二月六日の理事会、評議員会で承認されたもの。全仏側からは勝部組織局長と田代組織部長が、県仏側からは会長の他、小林乗雄副会長が出席した。

長が出席した。

世界宗教者集会

▼四月二十二・三・四の三日間、東京の京王プラザホテルで、軍備撤廃、核兵器廃絶をめざす「世界宗教者集会」が開かれ、海外からもふくめて、約八百人の参加者が「生命を選びとるために」というテーマで熱心な討議をした。全仏からは安本国際文化局長が出席した。

◆掲◆示◆板◆

時 宗

▼総本山遊行寺では、四月十九日から二十一日にかけて、寺沼琢明法主（遊行七十二代他阿一心上人）晋山式・総本山僧堂新築落慶法要・藤井隆然前法主（他阿隆宝上人）本葬・善導大師千三百年御遷忌の四大法要が厳修され、勝部組織局長が出席した。

事務総局録事（四月）

- 四日 第一回レンビニ一企画委員会 十日 局内会議
- 十六日 日宗連理事會
- 二十二日 自民党組織事務局と懇談會
- 二十八日 局内会議
- スリランカ文化相一行歓迎會

＝表紙の写真＝

うちわまき会式

（唐招提寺）

唐招提寺中興の祖・覚盛上人（一九四一―二四九）の忌日法要「梵網會」の付随行事「梵網會」では梵網經が講讀されるが、法要後、境内の楼上からハート型のうちわが撒かれるので、一般に「うちわまき会式」と呼ばれ親しまれている。

大悲菩薩覚盛上人（唐招提寺第二）

（写真提供 奈良新聞社）

昭和五十六年 五月一日発行
五月号 第二六八号

発行人 日野照護
編集人 安本利正

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都港区芝公園四一七―七三
電話〇三（四三七）九二七五

宗教界には最もゆかりの深い菩提樹と蓮の花を育ててみませんか!!

宗教界のみなさまにはこの上もないよいチャンスをお知らせします

成道ゆかりの樹……菩提樹(印度ブタガヤ産直輸入品) 苗代¥10,000 (鉢付)

極楽浄土の華……蓮(チャワンバス通称姫蓮) 苗代¥ 7,000 (鉢付)

菩提樹は成道への原点を象徴し蓮は極楽浄土の雰囲気(ムード)を作り上げて信仰、布教へのお誘いによって仏教興隆への一助ともなりますれば誠に幸甚の次第に存じます。

◎お庭だけでなくインテリアとして玄関先、本堂、応接間、客間(床の間、生け花)と巾広くご利用していただけます。

販売提携 東京池袋 西武不動産(株) 園芸営業所 TEL(03)989-2755
名古屋 合資会社 梅金商店 TEL(052)241-0901(代)

お申込方法

お申込先 有限会社 かねばみ商事 (〒460) 名古屋市中区大須三丁目39番33号(大須本町通交差点北東側)
お問合せ TEL大代表 ナゴヤ <052> 241-0901 番

尚数量に限度がありますので早目にお申込み下さい。(品切れの際はご容赦の程を)

配布月日は蓮は開花の関係上56年5、6月頃、(蓮のお申込み締切日は6月30日とします。)

菩提樹(インド)は日本の風土に馴れさせる為に秋期に予定致して居ります。

菩提樹、蓮とも同時にご予約注文を受け承りました時は特別価格¥15,000(菩提樹 ¥9,000+蓮 ¥6,000)にてご奉仕させていただきます。但し、それぞれに発送月日が違いますので送料は別々に申し受けさせていただきます。

東京仏教連合会推奨